

帝国ホテル

帝国ホテルは、海外からの要人を迎え入れる「迎賓館」の役割を担うため、渋沢栄一ら財界人の働きかけによって誕生しました。

明治20(1887)年、渋沢栄一は当時外務卿であった井上馨の意を汲み、大倉喜八郎と共に設立発起人として「有限責任東京ホテル」を創立し、ホテル建設に取り掛かりました。このホテルは、明治23(1890)年、帝国ホテルとして開業しました。明治26(1893)年に「帝国ホテル株式会社」となった際、渋沢栄一は初代会長となりました。

帝国ホテル 東京の敷地内には、大正14(1925)年に造られた渋沢栄一初代会長の胸像があります。



写真提供 / 株式会社帝国ホテル



渋沢史料館所蔵

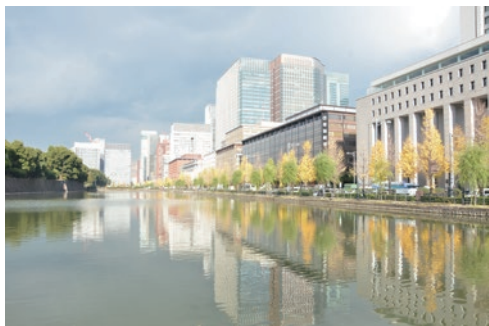


渋沢史料館所蔵

帝国劇場

日露戦争後、伊藤博文は国賓の接待に耐えうる西洋式の劇場を設立する必要を感じ、渋沢栄一らにその実現を持ちかけました。明治39(1906)年に開かれた発起人会で、渋沢栄一は創立委員長となり、翌年の会社創設に際して取締役会長となりました。劇場は明治44(1911)年に完成しました。

また、渋沢栄一の米寿を祝うため、全国の実業家有志により昭和3(1928)年10月1日に「子爵渋沢栄一閣下米寿祝賀会」が帝国劇場にて開催されました。



渋沢史料館所蔵



渋沢史料館所蔵



渋沢史料館所蔵



渋沢史料館所蔵